

ベルモント・フォーラム 2022 年 CRA (国際共同研究活動)
「Systems of Sustainable Consumption and Production (持続可能な消費と生産のシステム)」について

国立研究開発法人科学技術振興機構

2022 年 2 月

※この文書はベルモント・フォーラムの本公募の概要を説明した資料であり、応募する際にはベルモント・フォーラム公募ページ(英文)を参照して下さい。内容に相違がある場合は、ベルモント・フォーラム公募ページ記載内容を優先します。

1. ベルモント・フォーラムとは

ベルモント・フォーラムとは、地球の環境変動研究を行う世界の主要先進国・新興国のファンディングエージェンシー(研究助成機関)および国際的な科学評議会の集まりです。国際的な資金・研究者を動員し連携することにより、人類社会の持続可能性を阻む重大な障害を取り除くために必要とする環境関連の研究を加速させることを目的としています。ベルモント・フォーラムの活動は各国の既存研究支援による投資に対して付加価値を与えるものです。

ベルモント・フォーラムの詳細について下記のウェブサイトをご参照ください。

URL: <http://www.belmontforum.org/>

2. 本公募の趣旨

ベルモント・フォーラムは、持続可能な消費と生産のシステム(Systems of Sustainable Consumption and Production: SSCP)に関する共同研究活動(Collaborative Research Action: CRA)へのトランスディシプリナリーな研究(学際共創研究)の提案を公募します。既存の消費および生産のモデルでは、持続可能性の観点で課題があり、基本的なニーズを満たすことや、環境条件の維持および改善をもたらすことができていません。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、今日主流とされている経済モデルの脆弱性や不公平性が明らかになってきました。同時に、今回の感染症危機において、いかに早いスピードで社会変化が起きるかということも判明しました。ここで重要なのは、今後ともこうした変化を持続させるためには、制度的な変革や、意味のあるパブリックエンゲージメント(市民関与/対話)が必要であるということです。

このような状況下で、現在、極めて重要な社会的ニーズの一つが、持続可能でレジリエンスがあり、かつ公正な「消費と生産のシステム」に焦点を当てた研究だといえます。そしてこのような取り組みには、自然科学、物理科学、社会科学の研究者だけでなく、産業界、政府、その他さまざまな組織のステークホルダーやリーダーの包括的な関与が必要であり、それは、地域のレベルから、各国・地方のレベル、さらには地球規模レベルまで、世界中での多層的な関与を求めるものです。

過去数十年の、持続的な消費および生産に関する研究のうち、政府や産業界の政策に取り入れられてきたものは、ミクロな政治的課題をそれぞれ個々に扱うものが多く、消費と生産をひとつの社会技術システム (socio-technical system) として捉える視点は不十分でした。体系的な把握が欠如していたために、既存研究のインパクトが限定的だったと言えるでしょう。

そこで、本 CRA では、トランスディシプリナリー (学際共創的) な SSCP 研究に取り組むことのできる研究者の国際的なコミュニティの構築を目指します。具体的には、政策および実務を担う機関とのつながりを持ち、かつ国際的に活躍する第一線の研究者たちの参加を募ります。このようなかたちで継続的な研究を推進することにより、学際共創的な研究プロジェクトの相互関連的な性質上、必要十分なファンディングを確保することが可能だろうと見込まれます。また、このようなコミュニティの形成は、現在進行中の各研究の調整・連携や統合に有用なだけでなく、今後の研究に向けたアジェンダの設定にも不可欠なものと考えます。

3. 本公募の研究テーマ

ベルモント・フォーラム SSCP CRA の公募では、4つの主要なテーマを設定しています。したがって、本公募への提案は、以下の4つのテーマのいずれかに取り組むもの、あるいは複数および全テーマにまたがるものとします。

- ① Transdisciplinary research to help transition to green economies with sustainable systems of consumption and production (持続可能な消費と生産のシステムを備えたグリーン経済への移行を支援するためのトランスディシプリナリー (学際共創的な) 研究)
- ② Sustainable and resilient industries and their governance systems (持続可能で回復力のある産業とそのガバナンスシステム)
- ③ Social inequality and environmental justice (社会的不平等や環境的不公正の削減)

- ④ Integrating new technologies, policies, and practices into everyday life
(日常生活の新しい技術、政策、習慣の統合)

公募のテーマや条件の詳細につきましては、ベルモント・フォーラム公募ページを参照して下さい。

公募ページ：<https://www.belmontforum.org/cras#sscp2022>

4. 公募期間

ベルモント・フォーラム (BFgo) 公募開始：2022年2月16日(水)(EST)

JST (e-Rad) 公募開始：2022年2月17日(木)(JST)

事前提案〆切 (BFgo)：2022年5月10日(火)

事前提案〆切 (e-Rad)：2022年5月11日(水) 17:00 (JST)

最終提案締切 (BFgo)：2022年10月10日(月)

※e-Radの事前提案〆切は時差のためBFgo〆切日の翌日になる。

※e-Radの申請は最終提案の際には不要です。

5. 公募する提案の種類と予算

- (1) 支援期間： 3年間

支援規模： JST 年間最大 1,000 万円×3 年間＝最大 3,000 万円（間接経費 10%込み）

採択課題数：2～3 課題程度

この金額は、採択された 1 課題に参加している日本からの研究者全員への支援想定額です（研究者 1 人当たりの金額ではありません）。また直接経費の 10%を上限とした間接経費を含んだ金額です。

なお、支援想定額については、具体的な研究内容や採択課題数などによって変動することがあります。また、各国の支援金額は毎年の予算状況によっても変動することがあります。詳細は別紙 (Funding Organization Annex) を参照ください。

6. 本公募の参加国（予定）

日本、米国、カナダ、ブラジル、ドイツ、スウェーデン、台湾、タイ

7. 提案要件

(ア) 「6. 本公募の参加国」に記載されている国から、最低 3ヶ国以上に所属する研究者で構成されるコンソーシアムによる提案であること。国からの研究支援を受けることが難しいパートナー機関は、自費によりコンソーシアムへの研究参加が可能です。

(構成しているチームが、その国の資格要件を満たさず (not eligible)、そのチームが参加できないことにより、上記条件を満たさなくなった場合には、その時点で失格となり審査がされなくなります。たとえば、A国、B国、C国の3ヶ国構成のチームで、B国の要件をB国チームが満たせないとA国、C国の2ヶ国チームとなってしまうため、このプロジェクトは失格となってしまいます。研究代表者は、そのようなことがないように他国研究チームの応募資格にも注意する必要があります)

(イ) コンソーシアム代表者は、公募参加国に属する研究機関等に所属し、プロジェクトの実行と管理の責任を持つこと。また、一ヶ国に1名以上の共同代表者がいるものとし、必ず、そのうちの1名が国の代表者となること。

(ウ) 研究対象の複雑性、範囲などにより、コンソーシアムでは超学際 (Transdisciplinary) による研究推進が求められます。具体的には a) 社会学、人文社会学、経済学 b) 自然科学、科学技術 c) 市民、市民団体、産業界などからの参加が期待されます。

8. 応募資格：

コンソーシアム構成条件 「6. 本公募の参加国」に記載されている国から、3ヶ国以上が参加する提案であること。参加者側で費用負担できる場合には本公募の参加国以外からの参加もかまいませんが、参加国の数としてカウントされません。

1) コンソーシアムの構成要素

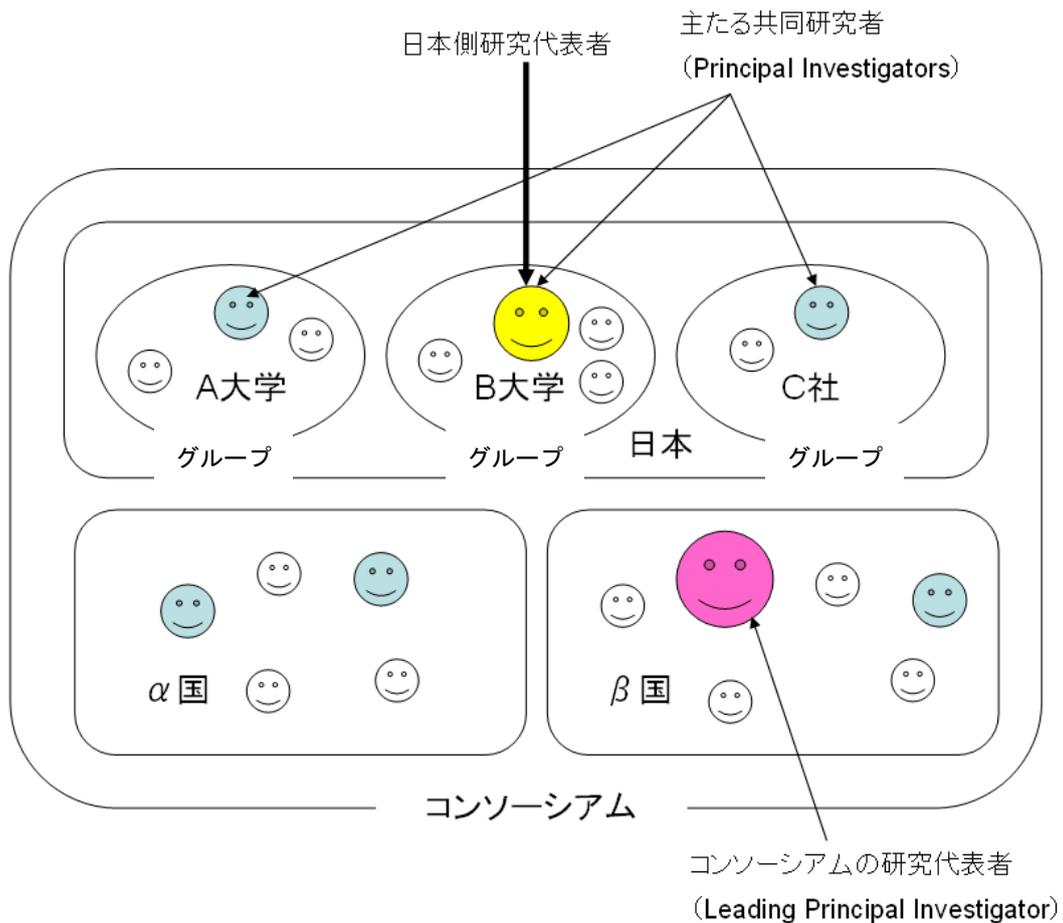
① コンソーシアムの研究代表者 (LPI: Leading Principal Investigator)
コンソーシアムの代表として全体の研究提案を取りまとめ、本公募事務局に応募する。

② 日本側研究代表者 (Japan's Leading Principal Investigator)
日本側の代表として、日本側研究チームの研究提案を取りまとめ、JST (e-Rad) へ応募する。また、採択された場合、日本側のとりまとめの窓口となる。

③ 各国共同研究者
一定の役割を担って研究に参加する。

コンソーシアムに参画する日本側研究チームは、研究グループごとに（原則として、所属研究機関ごとに）「主たる共同研究者（Principal Investigator）」を設定し、さらに主たる共同研究者の中から「日本側研究代表者」を1名設定してください。

※日本国内で、複数の研究グループを構成することは必須ではありません。



2) 研究代表者の条件

研究代表者は、研究倫理教育に関するプログラムを修了していることが応募要件となります。修了していることが確認できない場合は、応募要件不備とみなしますのでご注意ください。

詳細は公募要領別紙「第4章 応募に際しての注意事項 4.1 研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について」をご参照ください。また、e-Radでの入力方法については「第5章 府省共通研究開発管理システム e-Radによる応募方法等について」をご参照ください。

3) 日本側の主たる共同研究者

下記の要件を満たすことが必要です。

- ・国内の研究機関に所属して研究を実施できること
- ・不適正経理に係る申請資格の制限等を有していない研究者であること

4) その他

参加国の支援機関が適切な仕組みを持っていれば、民間企業は提案参加者として、あるいは共同支援機関として応募可能です。

9. 審査基準

主に以下の基準に沿って提案書を評価します。

- ・研究の質的優位性・科学的メリット
- ・公募目的との整合性
- ・学際／超学際、コンソーシアムの体制
- ・研究リソースとマネジメント

10. スケジュール

コンソーシアムの代表者（LPI）は、提案書を英語で記載し、BFgo サイト (<http://bfgo.org>) から電子申請してください。日本側研究代表者は e-Rad (<https://www.e-rad.go.jp/>) から電子申請してください。

審査スケジュールは以下のとおりです。

ベルモント・フォーラム（BFgo）公募開始：2022年2月16日（水）（EST）

JST（e-Rad）公募開始：2022年2月17日（木）（JST）

事前提案〆切（BFgo）：2022年5月10日（火）

事前提案〆切（e-Rad）：2022年5月11日（水）17:00（JST）

最終提案締切（BFgo）：2022年10月10日（月）

プロジェクト開始：2023年の早い時期を予定

※e-Radの事前提案〆切は時差のためBFgo〆切日の翌日になる。

※e-Radの申請は最終提案の際には不要です。

11. 研究報告

- ・採択された全てのプロジェクトは、本公募テーマ事務局が開催するキックオフ、中間、終了時の会合に参加することになります。

- ・プロジェクトリーダーは、BFgo サイト (<http://bfgo.org>) から、年次のプロジェクト全体の実績を報告する必要があります。
- ・コンソーシアムの代表者は、BFgo より各報告書（提出期限：プロジェクト期間中の毎年6月15日）を作成するためのログイン情報が届けられます。

12. オープンデータ

提案するプロジェクトにはデータ管理計画の作成が求められます（詳細は以下のベルモント・フォーラムのサイトからご覧ください。

<https://www.belmontforum.org/archives/resources/data-and-digital-outputs-management-annex-full>

この計画にはプロジェクトによって生成されるデータ種別、情報、モデル、ソフトウェア、ワークフローおよびコードやその他デジタル成果物に関する情報を含む必要があります。また、これらの成果物や付随するメタデータが格納される予定のアクセス可能なアーカイブやその他のオープンなレポジトリの概要を記載する必要があります。ベルモント・フォーラムのオープンデータ原則は、知識の普及やデータへのアクセス、データの再利用を改善・促進することで、科学的発見の効率性向上や研究投資リターンの最大化を意図するものです。本 CRA 採択プロジェクトは、データへのオープンアクセスを出来るだけ早く可能とするため、最大限の努力を払うことが期待されます。採択されたプロジェクトは、中間および終了時点の成果展開イベントで BFgo 報告システムへ提供された情報を使って、オープンデータ手順を遵守しているか審査されます。

また、JST の方針については、公募要領別紙「第4章 応募に際しての注意事項 4.20 オープンアクセスおよび研究データマネジメントについて」をご参照ください。

13. 本件に関するお問合せ先

国立研究開発法人 科学技術振興機構
国際部 事業実施グループ ベルモント・フォーラム担当
TEL : 03-5214-7375 FAX : 03-5214-7379
E-mail: belmont@jst.go.jp